

# CAFE BALCONY CAFE

# カフェ・バルコニーの家

## 通信

平成 26 年 10 月号 (第 53 号)

CAFE BALCONY CAFE BALCONY CAFE BALCONY

気付けば早いもので10月になりスポーツや芸術の秋となりました。

身体を動かしやすい季節となりましたのでフットサルやランニングやウォーキングなど色んなスポーツに励んでみたいものです。

一年の中では比較的に過ごしやすい時期ですが季節の変わり目は体調を崩しやすいのでご自愛ください。

カフェ・バルコニー通信 10 月号をお届けします。



秋のコスモス

## 「カフェ・バルコニーの家」の活動紹介

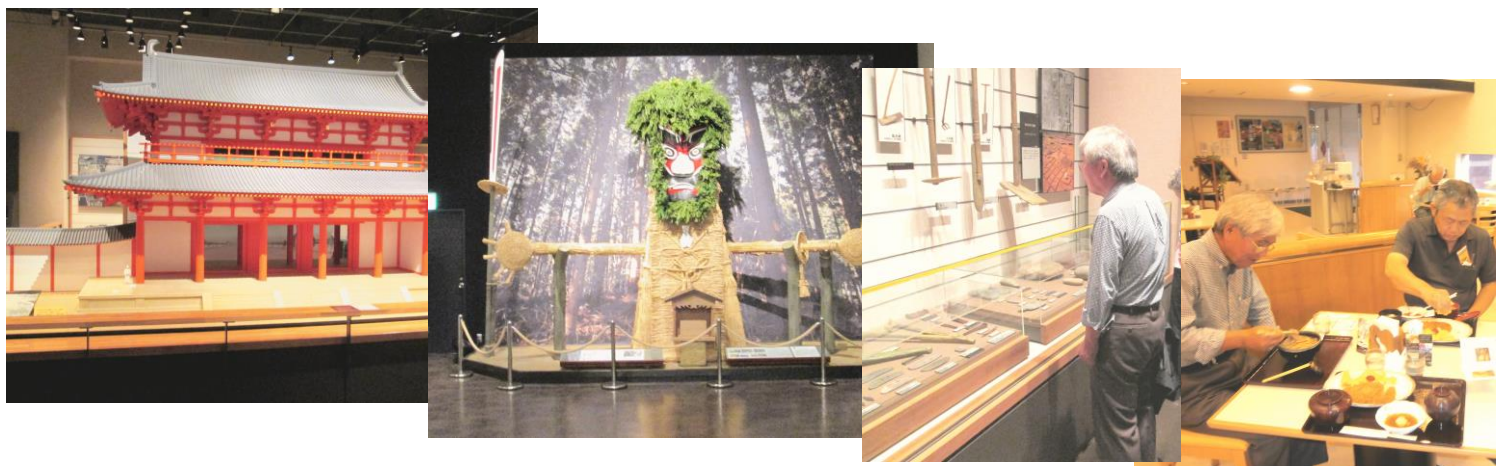


### 佐倉バス旅行

大雨の中、佐倉にある国立歴史民俗博物館にみんなで行って来ました。展示品は幅広くて古代日本から近代戦後日本まで、歴史を一望できて相当ボリュームがあった。僕自身、博物館にくるのはひさしぶりだったので、展示品を見ていると心が落ち着くかんじはした。

今回のバス旅行もよかったが真砂地活・磯辺バルコニーのメンバーも若い人が増えてきたので次回のバス旅行は若い人がよろこぶ場所を期待したい。

J. M





## 真砂の地域の茶の間の避難訓練

○2011・3.11、何してましたか？ 私は自宅でリビングのテレビをひたすら支えていました。

地域の茶の間の利用者として避難訓練に参加しました。地域の茶の間から真砂 4 丁目公園に歩いて 2 分。そこで 4 丁目の方々と合流し、2 列になって西小学校まで歩いて行きました。小学校で 5 丁目の参加者の方とさらに合流し、小学校体育館にパイプいすに座って町内会長さんのお話を聞きました。つごう小一時間ほどでした。

リビングのテレビを支えるだけよりいくらかましな対応が学べたかと思いましたが、油断は禁物です。みなさんも防災意識を途切れさせずいざというとき判断に困らないよう気を付けましょう。

石川良

●2014/8/31 朝 9 時から避難訓練がありました。茶の間の参加者は 11 人になりました。



## ○防災訓練を終えて

9月3日の14時よりカフェバルコニーにて防災訓練を行いました。

訓練のシナリオはレストラン営業中に天ぷら油が炎上。初期消火を消火器で行うが消しきれず、消防署に通報。お客様を階段にて屋外に避難させる。その後周辺の住民に火事を知らせ、公園に誘導する。といったものです。

訓練前に初期消火役、通報役、誘導役、お客様役を決め、それぞれ役名のボードを首から下げて行いました。

頭では手順を理解していてもいざとなると、大きな声が出なかつたり役柄同士の連携がとれなかつたりと戸惑うことが多く、実際の災害時にはどれだけ困難な状況になるか肌で実感することが出来たように思います。

消防署への通報手順や天ぷら油引火時に有効な防火シートの使用法などは、当日参加できなかったメンバーやスタッフの方にも是非お知らせしたい情報です。

シナリオを使用したの練習の後に、レストランの窓から避難はしごを使用しての避難練習を行いました。これまで使用したことのない避難はしごは設置するのも一苦勞でしたが、いざ降りてみるとお世辞にも安定しているとは言いがたい状況で、体験者は口を揃えて訓練以外では二度と使用したくないと感想を述べていました。

災害はいつどこでなにが起こるかわかりませんが、訓練なしではとっさの行動すら取ることができません。

今後も実際に消防署の方々に訓練を見ていただくことや立地が埋め立て地であるため震災の際に起こりえる液状化時の対応など様々な状況を想定し訓練を実施していきたいと考えておりますのでメンバーの皆様やスタッフの方々には積極的に参加していただきたいと思ひます。

カフェバルコニーの防災訓練担当者



●2014/9/3 昼 2 時から防災訓練がありました。カフェバルコニーの参加者は 14 人になりました。



## 料理教室を始めました

私たちが自立した時に自分一人でも簡単な料理が出来るようにと料理教室が始まりました。第一回の料理教室は A さんが中心になってチーズリゾットをみんなで作りしました。材料はベーコンとしめじとご飯とコンソメととろけるチーズとパルメザンチーズとパセリです。

パン作りのメンバーと料理教室とメンバーはほぼ同じでした。地域の茶の間ではパン作りが好きな方は料理も好きみたいです。

普段から A さんは家でもチーズリゾットを作っているので作り慣れているそうです。なので A さんのチーズリゾット作りの指示は的確で良かったです。

思ったよりチーズリゾットは早く出来ましたので昼食の時間に十分に間に合いました。

出来上がった料理は熱々でまた頂きたくになりました。

これからも料理教室で色々美味しい料理を作りたいと思ひますので皆様もぜひ料理教室にご参加下さい。

みんなの協力で作ったスープも美味しく出来ました。

次回が楽しみです。



I. T



## スタッフ紹介

はじめまして 野島美代子と申します。カフェバルコニーに、最初ボランティアとして料理の補助をと思いいました。それから約半年レストランの調理をやったり、経理をやったり慣れないことに挑戦してきました。これからは、何でもできるように努力はするつもりですが、本来は栄養士・調理師を生かして皆さんと楽しく料理が出来ればと思っています。よろしくお願いします。



## 誕生日会

カフェ・バルコニーでの、初めて参加した誕生日会は、とてもリラックスした、華やかな時間でした。みなさんから、一人一人、お祝いのメッセージをいただき、ジーンとくるものがありました。この大切な時間を思い出し、これからも自分にできることを1つ1つこなしていきたいです。

A. N.



## メンバーの寄稿文と写真

緑色から  
 黄色にかわりいくものは  
 なんでしょう  
 自分自身のように  
 人間関係のように  
 ちりとりの中で  
 夏から秋にかけて  
 少しずつたまるものは  
 なんでしょう  
 これからの未来のように  
 明日のように  
 空の中にあるような  
 気分になる  
 春は芽吹き  
 秋は落ちるようなものは  
 なんでしょう  
 そうして答えの  
 葉のように  
 みんな変わっていく  
 M・K

## 君のクレパス

今日君は何色のクレパス選んだのだろう？

君に与えられた人生という永遠に終わることのない  
キャンパスは真っ白で無限大だ

何色を選ぼうと君の自由だ

誰にも邪魔できないんだ

色を持たない人はいないと思うよ

ああ 同じクレパスを選びとった人は誰だろう？

一人、一人でいい

同じクレパスを手にとった人に会ってみたい

君のクレパスの色を教えて欲しい

ああ 今日もまた夜が更けてゆく

また、まだ見ぬ人に会えると信じて眠りにつく

永遠に知ることはできないのだろうか

かなわぬ夢を見る僕は今日を生きる

E · I

## 秋の畏れのなかで

ある少女、神秘的な幻、深淵までは明るい遠い奴の座を遠くから狙っている暗い影のなかに潜んでいる、一人の乙女について。彼女は名付けられ呼びかけられる存在から、今や自身、自然の事物、人間や精神の事実性に対して名付けることの自由で可能な存在者になって、自己自身をもって世界の薄闇を遠い国へ届けてみたいと感じているのである。自然と人間と精神と物質の世界の時空間のなかで、指向する対象の名で呼ぶことは、実に彼女を優しくする母性の愛であって、次々と呼びかけているうちに、ある日ある場所で、そういう精霊、少女の聖霊を知らない、特別な明るい事実存在を知るまで、彼女は授乳の如き名と呼びかけの根拠を生み出すのだ。

彼女は秋をエレガントで繊細な客人として迎え、芸術家となるべき試練に耐えるだろう。

彼の名を見つけたのは、あんな大きい霊的な鍋のなか、取れなかった、信頼と平和の武具はやつととれた日、言葉のなかで愛という法の契機をつかみ取った日であるだろう。革命は無意識へ帰り、彼女は孤立した生活感情に耐え、その後、膨張した革命家をスリムなサルトルに変えるのだろう。九月十六日 T · N





## カフェ・バルコニーの家からのお知らせ



1. カフェ・バルコニーの家では、毎月第1土曜日 10:30~13:30、家族会を開催しております。気軽にお問い合わせください。
2. カフェ・バルコニーの家ではNPO法人「カフェ・バルコニーの家」の理念に賛同頂き、ご支援下さる平成26年度賛助会員を募っています。入会金2,000円 年会費3,000円（1口）です。賛助会員には通信を毎月お送りし、「カフェ・バルコニーの家」の諸行事にご招待いたします。
3. 「カフェ・バルコニーの家」の活動を支援して下さる応援団を募集しています。年会費は1,000円からです。(郵便振替 00180-2-322417 NPO法人カフェ・バルコニーの家) をお願いいたします。振込用紙は各郵便局にあります。
4. 自立支援医療を受けている人は、社会的自立のために、当会の活動に体験参加できます。
5. 当会で2年間調理、接客訓練を受けた方は、**国家資格・調理師試験の受験資格**が得られます。(調理実習が免除されます)
6. ボランティアさんを募集しています。レストラン調理(補助)・和菓子作り・パソコン・経理・音楽・スポーツなど、いろいろな活動のボランティアさんを募集しています。メンバーと一緒に楽しもうという気持ちがあれば、誰でも出来ます。まずは、気軽に体験してみてください。(問合せは043-377-3502 藪下、043-441-3193 石川まで)
7. ご支援ありがとうございました。田野 進様(きゅうり・トマト)、江本素子様(オレンジ)、松永千秋様(洗剤・歯ブラシ・ドラゴンフルーツ)、後藤君子様(カルピス)、山口秀子様(手作り袋物)、藪下 勝様(キャノンカメラ)、藤代光雄様(120,000円)、石川恵一様(オリンパスカメラ)

<カフェ・バルコニーの家 通信 第53号 10月号>

- 発行場所 : NPO法人カフェ・バルコニーの家  
千葉県美浜区磯辺3-5-7  
電話&FAX 043-377-3502
- 発行者 : 藪下 敦子
- 編集長 : 石川 恵一
- イラスト : 堀越 雅子
- HP : <http://www.cafe-balcony.jp>
- E-mail : [cafe-balcony.mihama@cnc.jp](mailto:cafe-balcony.mihama@cnc.jp)

